

● 県議会厚生環境委員会で県外視察を行いました



【視察の詳細はコチラから】

厚生環境委員会として7/10(火)から12(木)まで、東京都・静岡県内の6つの関係機関の視察を行いました。主な視察箇所は以下の通りです。

● 国立成育医療研究センター(東京都世田谷区)

アレルギー疾患医療の全国的な拠点となる中心拠点病院。今後指定される各都道府県拠点病院の専門的知識及び技術を有する医療従事者の育成を行う。関係者と意見交換。同センターに併設されている、こどもの医療型短期入所施設「もみじの家」を訪問。



もみじの家

● 東京都庁(東京都新宿区)

東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、東京都が2016年から進めている「東京文化プログラム」の内容と取り組みについて、担当者と意見交換。

● 静岡県立静岡がんセンター(静岡県長泉町)

平成14年開院。県直営の高度がん専門医療機関。がん患者診療数は全国トップ3に位置する日本を代表するがんセンター。「心通う対話」「寄り添い、支えるケア」を実践。



静岡がんセンター①



静岡がんセンター②

● ふじのくに地球環境史ミュージアム(静岡県静岡市)

平成28年3月開館。廃校となった県立高校を活用した、全国初の地球環境史をテーマにした県立博物館。自ら考え、行動の実践へと導くことをコンセプトとした展示内容。



ふじのくに地球環境史ミュージアム

● 県内の被災地や関係機関で調査活動を行いました

● 6/14(木) 清流の国ぎふ 防災減災センター

岐阜大学工学部に設置されている同センターを訪問。防災人材育成に携わることの出来る人材を全県的に養成する「げんさい未来塾」について意見交換。



● 7/6(金) 引きこもり地域支援センター

岐阜市鷺山の岐阜県障がい者総合相談センター内に設置されている同センターを訪問。県在住のひきこもりに悩むご本人やご家族の方を対象に、相談などを行う機関。取り組みについて意見交換。



● 9/7(金) 下呂市萩原町上呂地区土砂災害現場

当時の被害状況と応急復旧の概要の説明を受け現場を視察調査。

● 9/10(月) 岐阜南警察署県庁前交番

県下の交番と駐在所に設置が完了したAEDの利用方法について調査。



● 全ての県立学校にエアコンを設置へ

📢 課題

今年の夏の「災害」ともいえる猛暑は、来年以降も十分想定され、生徒を守るための熱中症対策は重要な課題です。現在、県立学校の普通教室では63校のうち40校に、特別支援学校については全てにエアコンが設置されていますが、まだ3分の2程度にとどまっています。

🔍 調査と要望

岐阜県議会公明党では、平成30年6月定例会の代表質問で、県立学校へのエアコン設置の財源確保策として、県立学校OB等からの寄附金を財源とした基金を創設・活用した神奈川県の事例を紹介し、全学校への早期設置を訴えました。教育長からは「エアコン等の教育環境の充実に関しては、次期教育ビジョンで位置づけたい」との答弁がありました。



🏃 前進

その後、命の危険に及ぶ連日の猛暑を受け、古田知事は7月の定例記者会見で、「積極的に整備を考えたい」と設置を進める方針を明らかにしました。さらに平成30年9月定例会で教育長より、来年の夏前に全校へエアコンを設置完了できるように進めると方針が示されました。今後も予算要望等で積極的に働きかけてまいります。

● 帰宅困難時に使える備蓄品が全ての県立学校に配備

岐阜県議会公明党では、災害等が発生し帰宅が困難になった場合に必要、県立学校の生徒と教職員への非常食や簡易トイレ等の準備が十分でないことを、平成29年9月定例会で質問しました。その後も予算要望活動などを通じ、粘り強く訴えたところ、県教育委員会でその必要性が認められ、平成30年度県予算の中で必要経費を計上。

本年9月までに全ての県立高校に非常食や簡易トイレ等の備蓄品が配備されました。



● 県内中小企業のIoT・ITの導入や人材育成を支援します

県内企業では常態化する人手不足に対し、IoT(モノのインターネット)やITの導入により、少ない人員で売上や生産高を確保する「生産性向上」の取り組みが不可欠になっています。

県ではIoT・ITの普及啓発・導入活用成功事例の紹介・導入促進補助金・人材育成研修など、県内中小企業を幅広く支援しています。

大垣市にあるソフトピアジャパンでは、IoTの導入・活用に必要な知識・スキルを習得できるよう、IoT入門から、データの見える化・収集・分析、人工知能、セキュリティなどに特化した研修を実施しています。

詳細は [ソフトピアジャパンIoT・IT研修](#) 検索 またはQRコードから。



IoT・IT研修

